

【世界のオーラルケア・歯周病事情に関する調査】

歯のケアへの時間・お金の投資意識、6カ国最低 歯周病が感染症であると認識している日本人は約 25%

～サンスター「G・U・M」が6カ国を対象に意識調査～

サンスター株式会社（本社：大阪府高槻市、代表取締役 吉岡貴司）は、6カ国 20～69 歳の男女 2,280 人を対象に、世界のオーラルケア・歯周病事情に関する調査*1 を実施しました。

調査の結果、日本は調査 6カ国の中でも「歯周病」という言葉に対する認知率がドイツと並び非常に高いにも関わらず、「歯のケアには時間やお金をかけたくない」と感じている人の比率が高いという結果になりました。

本調査により、日本では自分が歯周病患者の該当者及び該当する可能性があるという意識が非常に高く、また、日本ではオーラルケアのアイテムとして、ハブラシとハミガキペーストのみを使用するケースが多く、デンタルリンスや歯間ブラシなど他のアイテムの普及率の低さが顕著に現れました。

この結果について、神戸常盤大学の野村慶雄教授は、「歯周病の認知度が高いことと意識が高いことは一致せず、歯周病の原因や成り立ちが理解できると、予防や治療への行動につながります。有病率は低下傾向にあるものの、本質的には歯周病のケアやキュアに対する習慣が確立していないことが今回の結果につながったのではないのでしょうか。」とコメントしています。

*1 調査の方法

調査期間：2014 年 9 月 2 日～17 日

調査方法：インターネット調査（マクロミル）

調査対象：6カ国（日本、アメリカ、ドイツ、オーストラリア、イギリス、スウェーデン）
20～69 歳の男女、各国 380 人

【調査結果】

①オーラルケア・歯周病に対する意識は日本が圧倒的高さを誇るも、3人に1人がケアに消極的

「歯周病をご存知ですか」という問いに対し、オーラルケア先進国の中でも最高の 97.9%が認知しているという結果となりました。また、「自分が歯周病だと思うか」という問いに対し、「歯周病ではなく今後もならないと思う」と回答した人が 17.1%で、2位のドイツ 49.5%に対して大きく差が出ました。

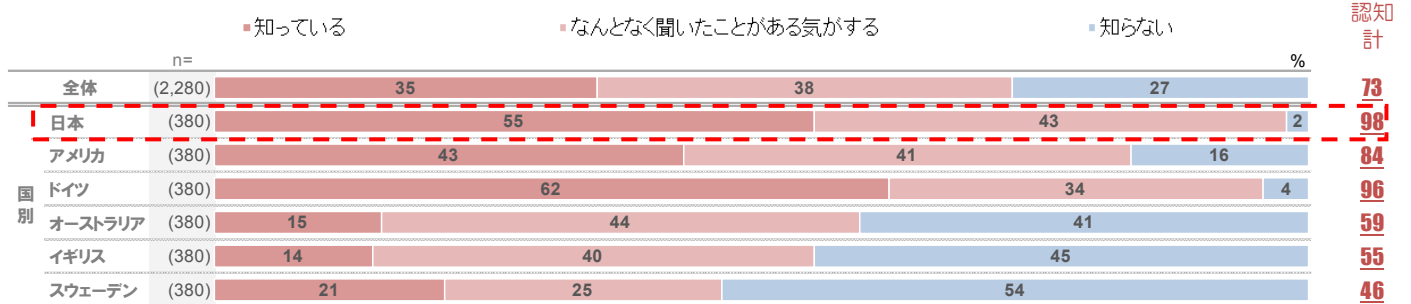


図1 歯周病の認知率

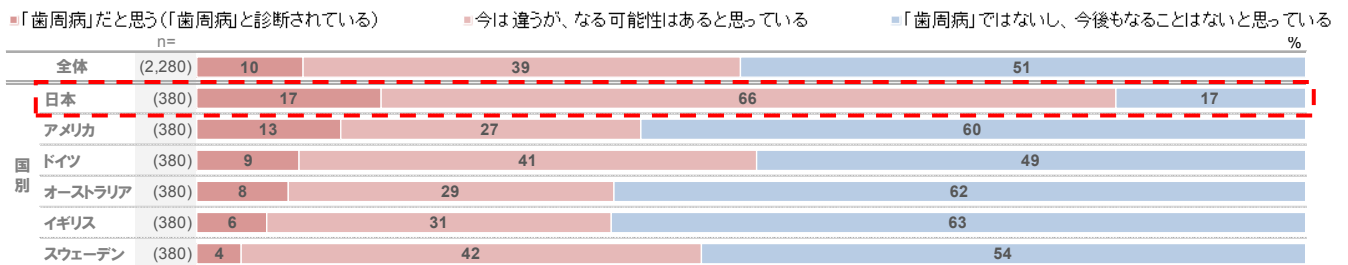


図2 自分が歯周病だと思うか

一方で、自分自身の「歯」に対する考え方を聞いたところ、「歯のケアに時間やお金をかけたくない」と回答した人が日本は全体の 30%であり、6 カ国中最もケアに時間・お金をかけない国であるという結果になりました。

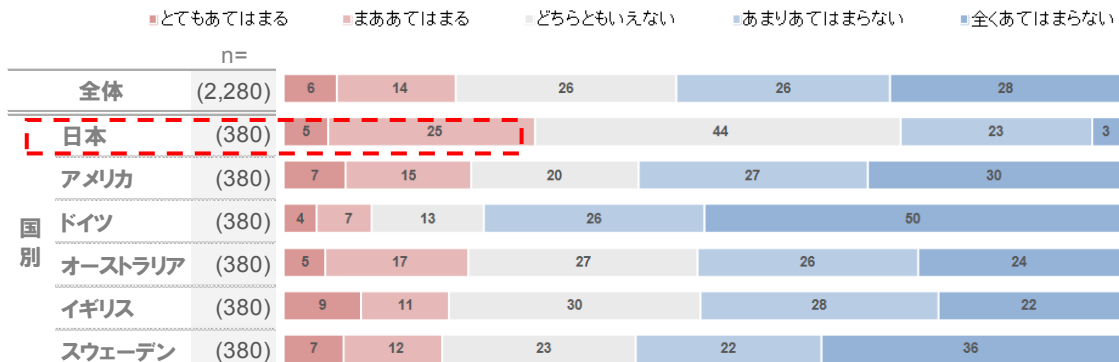


図3 自身の「歯」に対する考え方 “歯のケアに時間やお金をかけたくない”

<神戸常盤大学 野村慶雄教授のコメント>

歯周病を含め当該対象者層には生活習慣病が増加する一方、歯周病の症状がなければ歯科医院を受診しない人が多い現状です。どのように予防あるいは治療すればよいのか、また、歯を健康な状態で残すことの意義についての情報が日本では不足していると考えられます。

②治療以外にオーラルケアにかかる費用、日本はハブラシのみが多数

オーラルケアに関する商品で、最もよく買っている価格帯を聞いたところ、日本は6カ国の中でハブラシにかかる費用が最も低いという結果となり、日本での購入価格帯で1本平均233円という結果になりました。

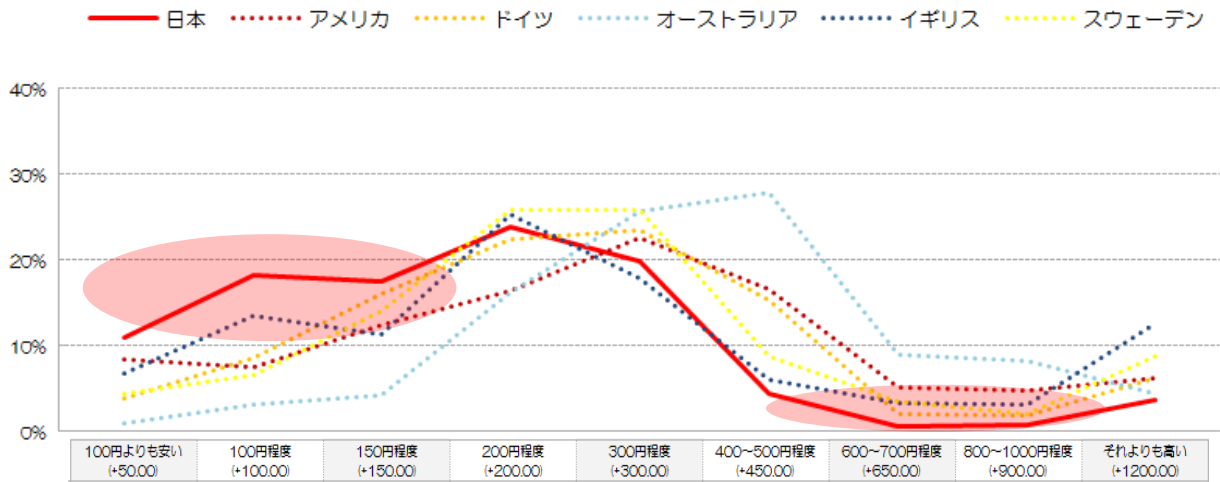


図4 普段使っている歯ブラシの価格

| | | n= | 100円よりも安い (+50.00) | 100円程度 (+100.00) | 150円程度 (+150.00) | 200円程度 (+200.00) | 300円程度 (+300.00) | 400~500円程度 (+450.00) | 600~700円程度 (+650.00) | 800~1000円程度 (+900.00) | それよりも高い (+1200.00) | 平均価格 (円) |
|--------|---------|---------|--------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|--------------------|----------|
| 国別 | 全体 | (2,264) | 5.9 | 9.6 | 12.6 | 21.7 | 22.6 | 13.2 | 3.9 | 3.5 | 7.0 | 233 |
| | 日本 | (377) | 10.9 | 18.3 | 17.5 | 23.9 | 19.9 | 4.5 | 0.5 | 0.8 | 3.7 | 357 |
| | アメリカ | (372) | 8.3 | 7.5 | 12.4 | 16.4 | 22.6 | 16.7 | 5.1 | 4.8 | 6.2 | 324 |
| | ドイツ | (380) | 3.9 | 8.7 | 16.1 | 22.4 | 23.4 | 15.3 | 2.1 | 1.8 | 6.3 | 432 |
| | オーストラリア | (377) | 1.1 | 3.2 | 4.2 | 16.2 | 25.7 | 27.9 | 9.0 | 8.2 | 4.5 | 366 |
| | イギリス | (380) | 6.8 | 13.4 | 11.3 | 25.3 | 17.9 | 6.1 | 3.4 | 3.2 | 12.6 | 345 |
| スウェーデン | (378) | 4.5 | 6.6 | 14.0 | 25.9 | 25.9 | 8.7 | 3.4 | 2.1 | 8.7 | 345 | |

図5 普段使っているハブラシの平均価格

朝・昼・夜の各シーンで歯みがきに使用しているアイテムを聞いたところ、いずれのシーンでもハブラシ使用は95%を超えているものの、その他のアイテム使用率については他国と比べて低いという結果になりました。なかでも、デンタルリンスやマウスウォッシュの使用率が著しく低く、また各シーンでハミガキペーストの使用率が75%を下回るのは日本だけという結果になりました。

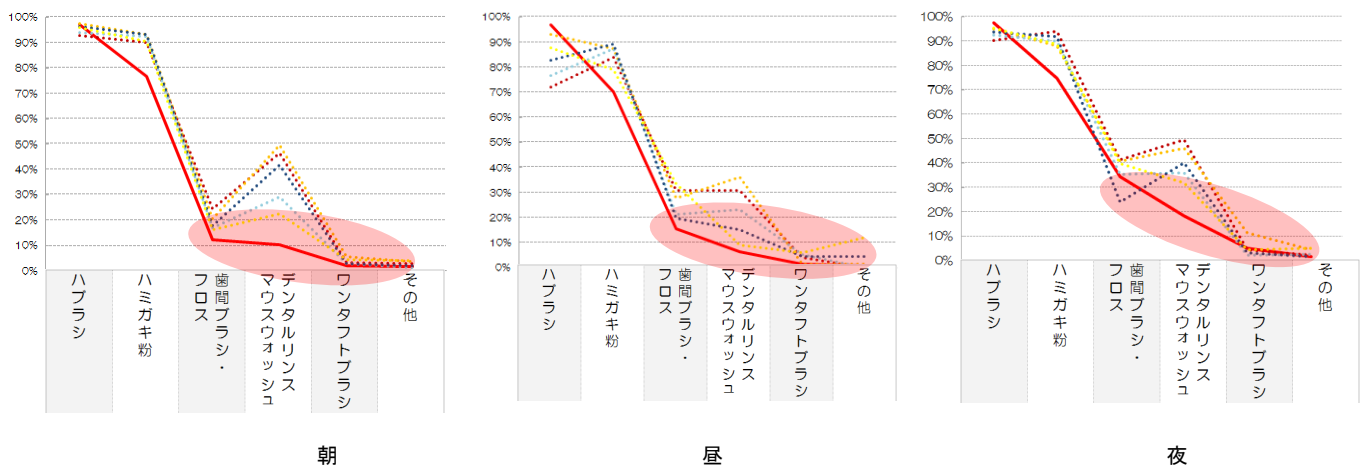


図6 各シーンごとに歯みがきに使用しているアイテム

<神戸常盤大学 野村慶雄教授のコメント>

歯周病の予防のためには、歯肉に接する歯面に付着するプラークを除去すること、そのためにはハブラシの毛先が歯肉に接触することが大切です。また、ハブラシだけでは完全にコントロールできないため、歯間ブラシ・タフトブラシなど補助的清掃具をもっと活用し、それでも残ってしまう細菌に対してデンタルリンスなどを併用することをお勧めします。

③歯周病を正しく理解している日本人 25%、「感染」への恐怖心は各国有数の高さ

「感染症」に対する恐怖感を聞いたところ、日本は 93.9%が「怖い」と回答し、他国を大きく引き離す結果となりました。

「歯周病は感染症だと思うか」という問いに対し、日本は「接触感染だと思う」と答えた人が 25%という結果になりました。現在、歯周病の感染経路は思春期以降の唾液感染であると推測されており、歯周病の意識は高いものの、正しく理解している日本人は全体の 1/4 に留まる結果になりました。

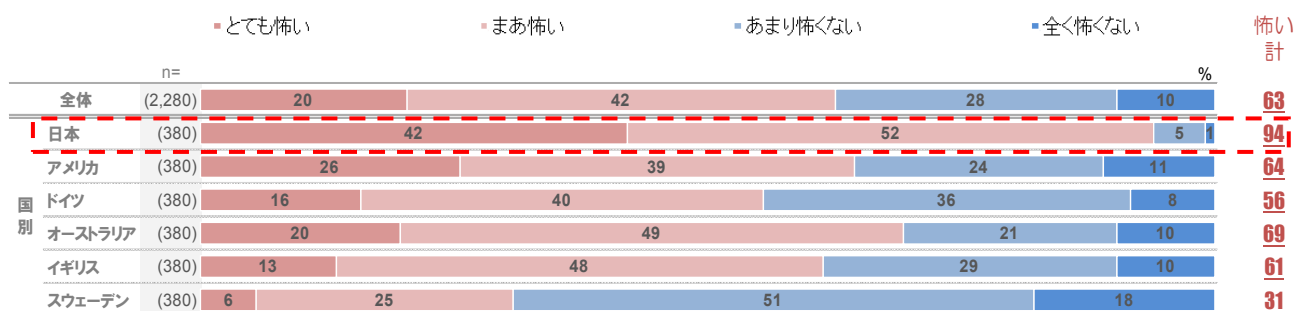


図7 「感染症」に対する恐怖感

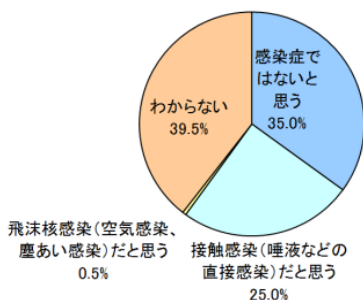


図7 「歯周病=感染症」であることの認知

1日歯みがきをしなかった人と、3回歯みがきした人との歯周病菌画像を見比べた感想を聞いたところ、「怖い」と感じた人が日本は 88.1%で、歯周病菌の拡散に対する恐怖心が浮き彫りになりました。



図8 1日3回歯みがきした人

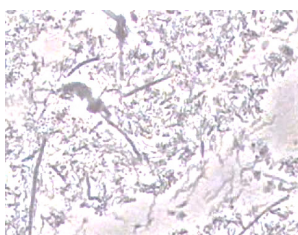


図9 1日歯みがきをしなかった人

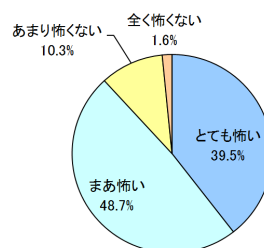


図10 2つの画像に対する日本の反応

<神戸常盤大学 野村慶雄教授のコメント>

歯周病は感染症です。歯周ポケットの歯肉側は表面がただれた潰瘍になっていて、血管の開口部も存在します。ポケット内は様々な細菌の温床であるため、それらの細菌や細菌が出す病原因子は容易に血管の中に入り込み、血流に乗って離れた臓器や組織に運ばれ、時には全身疾患の発症や進展に関わるようになります。

今回の調査で、多くの人は重篤な感染症に対しては恐怖を覚えるものの、症状に乏しい歯周病が口腔内細菌による感染症と理解している人は必ずしも多くないことが浮き彫りとなりました。また、歯周病と全身疾患との関わりに関する情報により、歯周病に対する理解度や歯周組織が健康であることの大切さを改めて考える機会となりました。様々な媒体を通して、正しい歯周病の知識や全身疾患との関わりに関する最新情報を提供することが大切でしょう。自分一人ではお口の現状をチェックする事はできないので、定期的に歯科医院などを受診し点検してもらうとともに、適切なアドバイスももらい日々実践することを心がけましょう。

<参考情報>

歯周病についての詳しい解説 (Mouth & Body Plaza)

<http://www.mouth-body.com/school/classes/period/O01c>

【神戸常盤大学 野村慶雄教授】

野村 慶雄 (のむら よしお) 先生

学校法人 玉田学園 神戸常盤大学短期大学部

口腔保健学科長



大阪大学歯学部卒業

岡山大学助教授 (歯科保存学第二講座)

サンスター株式会社オーラルケア事業本部

サンスター歯科保健振興財団専務理事

附属千里歯科診療所長

大阪大学歯学部臨床教授

神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部教授

資格：歯学博士 (大阪大学)

学会：日本未病システム学会評議員

サンスターは「常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」を社是に、マウス&ボディ、ヘルス&ビューティという2つの事業分野を通じて、商品やサービスを提供しています。オーラルケアシリーズ「G・U・M」、**「Ora²」**、ヘアスプレー「VO5」、スキンケアシリーズ「EQUITANCE」、健康食品「健康道場」シリーズなどを展開しています。

<本件のお問い合わせ先>

サンスター株式会社

広報部 (東京)

TEL : 03-5441-1423

FAX : 03-5441-8774

広報部 (大阪)

TEL : 072-682-6212

FAX : 072-682-7917